

講義・演習概要（シラバス）

研修専門課程第34期（平成26年1月28日～2月7日）

課 目 名	自治体研修所の役割・責任（2時限）
時 限 数	自治体研修の課題（6時限） ※うち3時限はグループ討議
担 当 講 師	元東京都総務局長・元東京都職員研修所長 押元 洋 ＜プロフィール＞ 昭和49年東京都入庁、市町村職員中央研修所の教授・研修主幹、東京都総務局人事部人事課長、衛生局病院事業部長、病院経営本部長、総務局長を歴任、平成20年に東京都を退職。 その後、東京都職員研修所長、東京都人材支援事業団理事長、東京都保健医療公社理事長を経て、平成24年より東京信用保証協会専務理事。
ね ら い	自治体研修所の役割・責任について、自治体職員が多角的に視野を広げ、考える契機となることをねらいとする。また、他団体との研修課題の討議等を行い、自団体の職員研修の充実を図ることをねらいとする。
講 義 概 要	「自治体研修所の役割・責任」 自治体を取巻く環境が激変するなか、職員にはますます高度な職務遂行能力が要求されるようになっている。こうした人材育成のニーズに応えるために、自治体研修所に求められる役割と果すべき責任について、「世代継承」という原点に立返って考える。さらに、職業人は仕事を通じて成長することから、職場研修を中心に効果的な研修運営はいかにあるべきかを講ずる。 ○自治体における人材育成と世代継承 ○研修のあり方、特に職場研修の重要性 ○人事と研修の連携、成長する組織風土づくり ○研修のもう一つの役割 ～吏道～ ○研修所の役割・責任 「自治体研修の課題」 グループ討議の結果発表にコメントを加えつつ、個別具体的に指導する。
受講上の注意	特になし
使 用 教 材	パワーポイントを使用して講義を行う。
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし